

旧グラバー住宅 ひと・たてもの・暮らし

旧グラバー住宅は、スコットランド出身の商人トーマス・ブレイク・グラバーが幕末の1863年（文久3）に建てた現存する日本最古の木造洋風建築であり、国の重要文化財に指定されています。建物は2019年～2021年にかけて保存修理を行い、完了とともに展示をリニューアルしました。展示では、「ひと・たてもの・暮らし」をテーマに、グラバーや息子倉場富三郎の生涯、家族の暮らしの様子、建物の価値について紹介しています。

展示ゾーニングと展示内容

「ひと」をテーマにした展示

グラバーと富三郎の生涯

21歳で来崎したグラバーや息子の倉場富三郎の生涯を通じて、彼らが日本の近代化にどのように関わったかを伝えます。

- ① はじめに テーマや展示ゾーンの紹介(解説グラフィック)
- ② グラバー関連年表(解説グラフィック)
- ③ トーマス・ブレイク・グラバー日本を近代化に導いた外国人(映像)
- ④ グラバーの偉業と交流(解説グラフィック)
- ⑤ 倉場富三郎の偉業と交流(解説グラフィック)
- ⑥ 勲二等旭日重光章の授与(複製+解説グラフィック)
- ⑦ グラバー家系図(解説グラフィック)

「たてもの」をテーマにした展示

国指定重要文化財旧グラバー住宅

建物の歴史や建物の特徴である和と洋の混在を伝えます。また、重要文化財の保存修理工事について紹介します。

- ⑧ 旧グラバー住宅の建物的特徴(解説グラフィック)
- ⑨ 国指定重要文化財旧グラバー住宅の歴史(映像)
- ⑩ 天井唐紙や輸入建具等(資料展示)

「暮らし」をテーマにした展示

グラバー家が暮した時代の生活再現

昭和初期の写真等を参考に再現し暮らしの様子を伝えます。家具や調度品は、主に既存で、住んでいた時期と重なるものを選定しました。

- ⑪ 昭和初期の様子： 2019年に発見された昭和初期の写真を参考に食堂の様子を再現
- ⑫ 植物に囲まれた暮らし： 温室の写真を参考に所狭しと置かれた植栽を再現
- ⑬ 家族や知人が集う部屋： この場所で撮影された、ティータイムの写真を参考に再現
- ⑭ 寝室(再現展示、室内解説サイン) 富三郎が父グラバーに宛てた手紙からこの部屋が寝室と判明した史実に基づき旧オルト住宅の寝室を参考に再現
- ⑮ 厨房(再現展示、室内解説サイン)：19世紀イギリスの厨房を参考に再現



AR「旧グラバー住宅のひみつ」

スマートフォンなどを使って建物の魅力や昔の様子を再発見することができるAR(拡張現実)技術を使った映像コンテンツが屋内と屋外6カ所あります。

